

日本歯科鞭打ち症研究会・再発足 2013 年 10 月～

(主旨)

1. 全国組織で、外傷性下顎骨変位障害の治療できる歯科医師を養成し、各地域における指定医療機関を目指す。また、本研究会主旨に賛同する指導者や協力者を養成する。
2. 治療の優先順位として、一次治療；医科医療、二次治療；歯科医療としての総合治療システムを 確立していく。さらに、その過程において、医科の協力の基で二次治療開始の時期を確立していく。
3. 多くの事例から、症状との因果関係を検証し、診断および治療法を確立し、問診・診査表を作成 し充実させていく。また、歯科鞭打ち症ガイドラインを作成する。
4. 将来、歯科むち打ち症専門制度を目指す。
5. 将来は、他の学会との統合または単独学会を目指す。また、世界の学会との共催を促す。

会員資格；医師、歯科医師、およびその他の医療従事者（賛助会員も含む）